

# アフターコロナの学校行事デザイン ～児童ウェルビーイングからの考察～

愛媛大学教職大学院 修了生

愛南町立城辺小学校

松岡 竜彦

## 長引いたコロナ禍

### 学校の現状

### 変化

- 3密回避
- マスク生活
- 行動制限
- 黙食

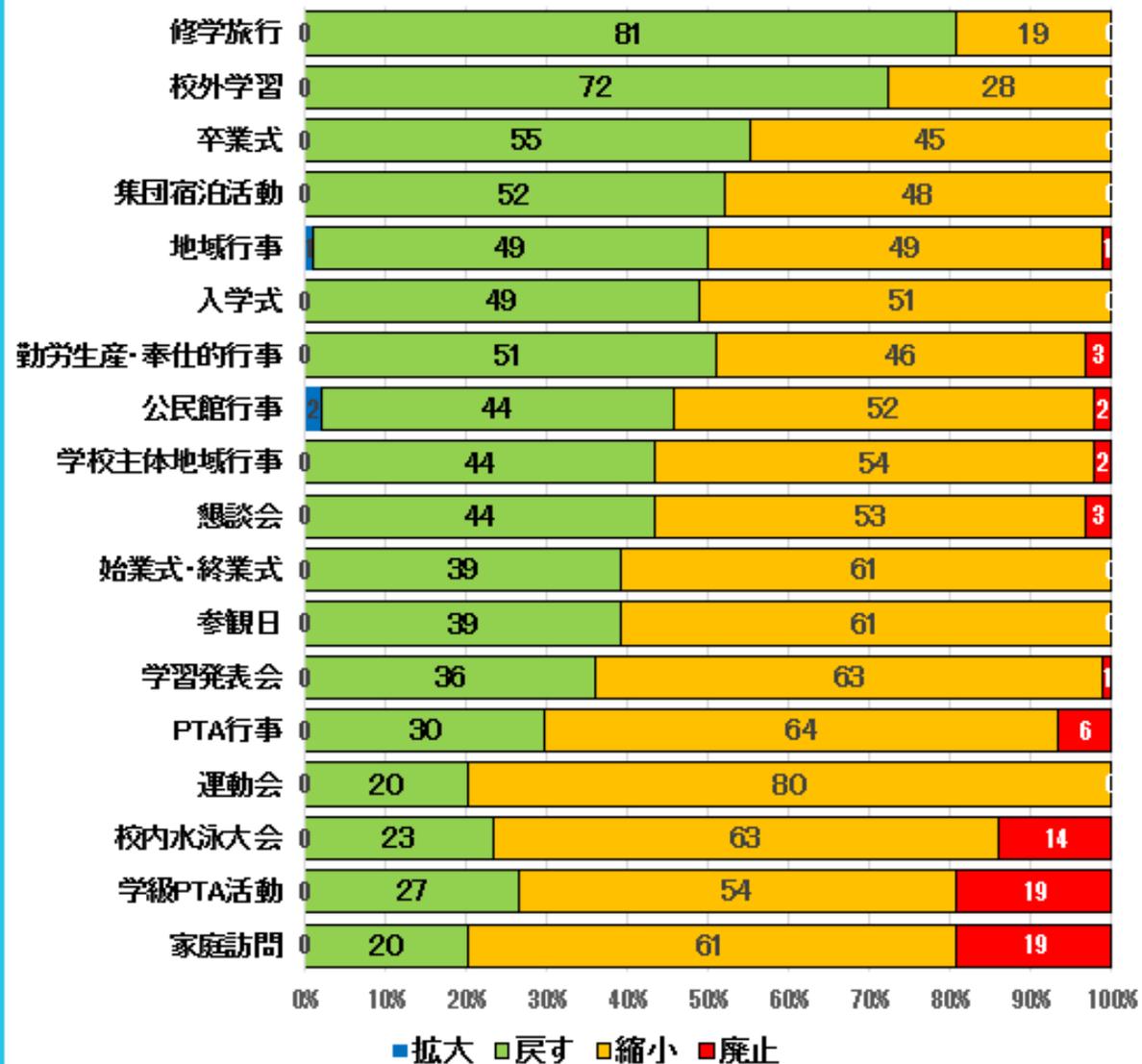
- 学校行事の中止や規模縮小
- 学習スタイルの変化
- 地域連携の機会の減少
- 新しい生活様式と行動基準

- さまざまな「つながり」の機会の減少
- 「働き方」と「働きがい」
- GIGAスクール構想の加速
- ウェルビーイングの視点

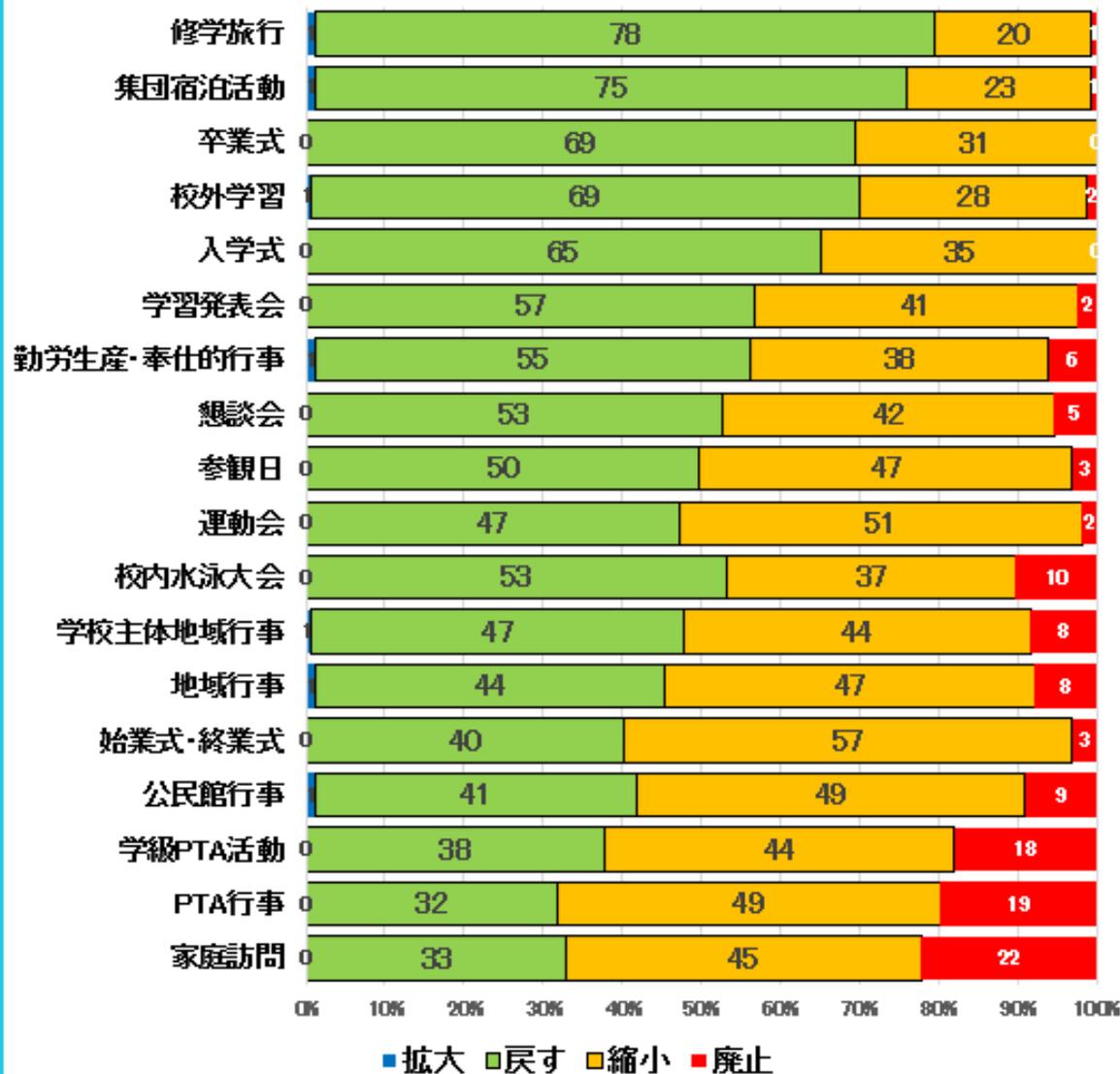
アフターコロナを見据えた学校行事デザインを！

# 先行研究の動向/文献調査

## 教員アンケート

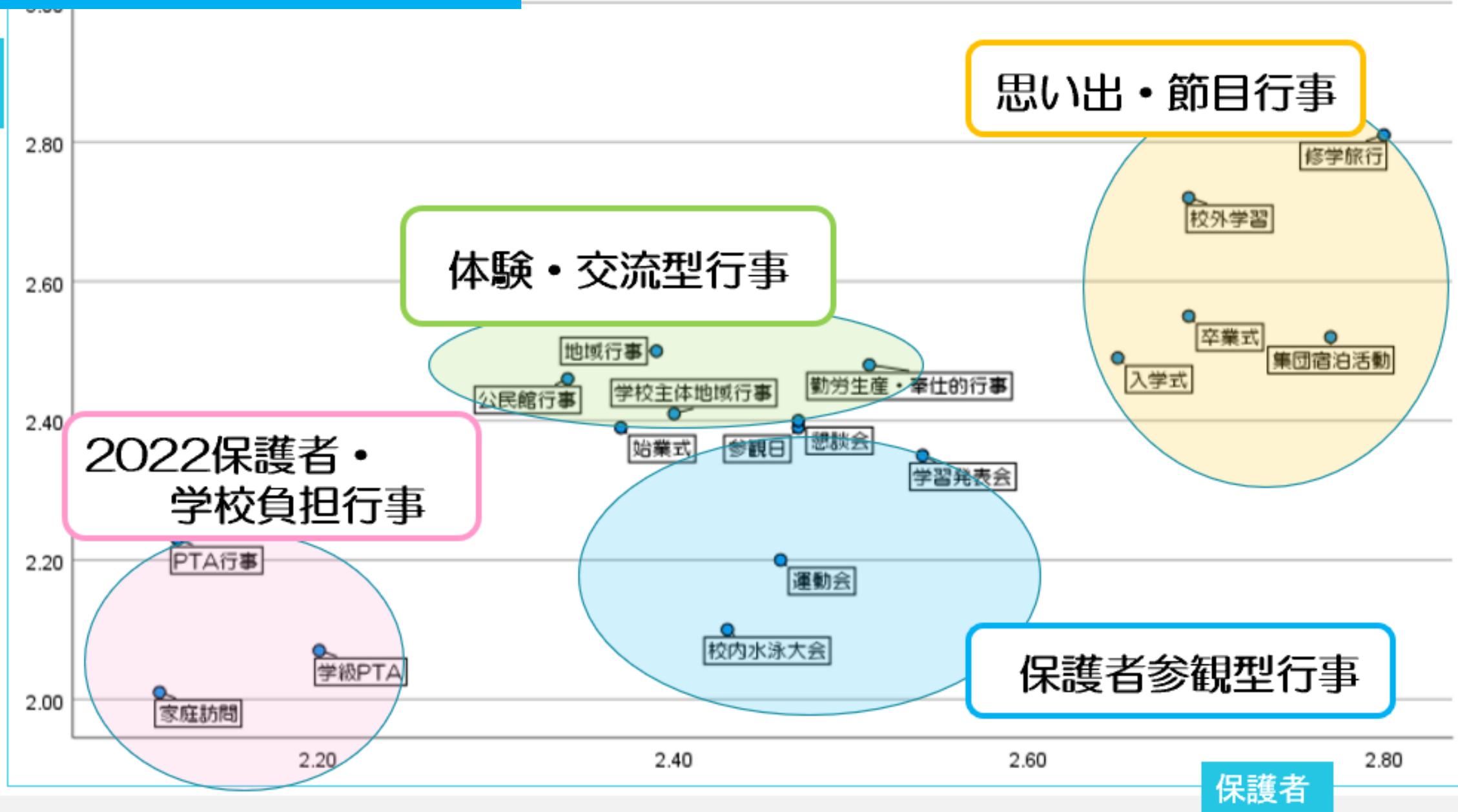


## 保護者アンケート



# 先行研究の動向/文献調査

教員



保護者

## 先行研究の動向／文献調査

『元に戻ろうとするのではなく、課題に向き合い変えていく（リスクをとり挑戦できる自由な学校へ）

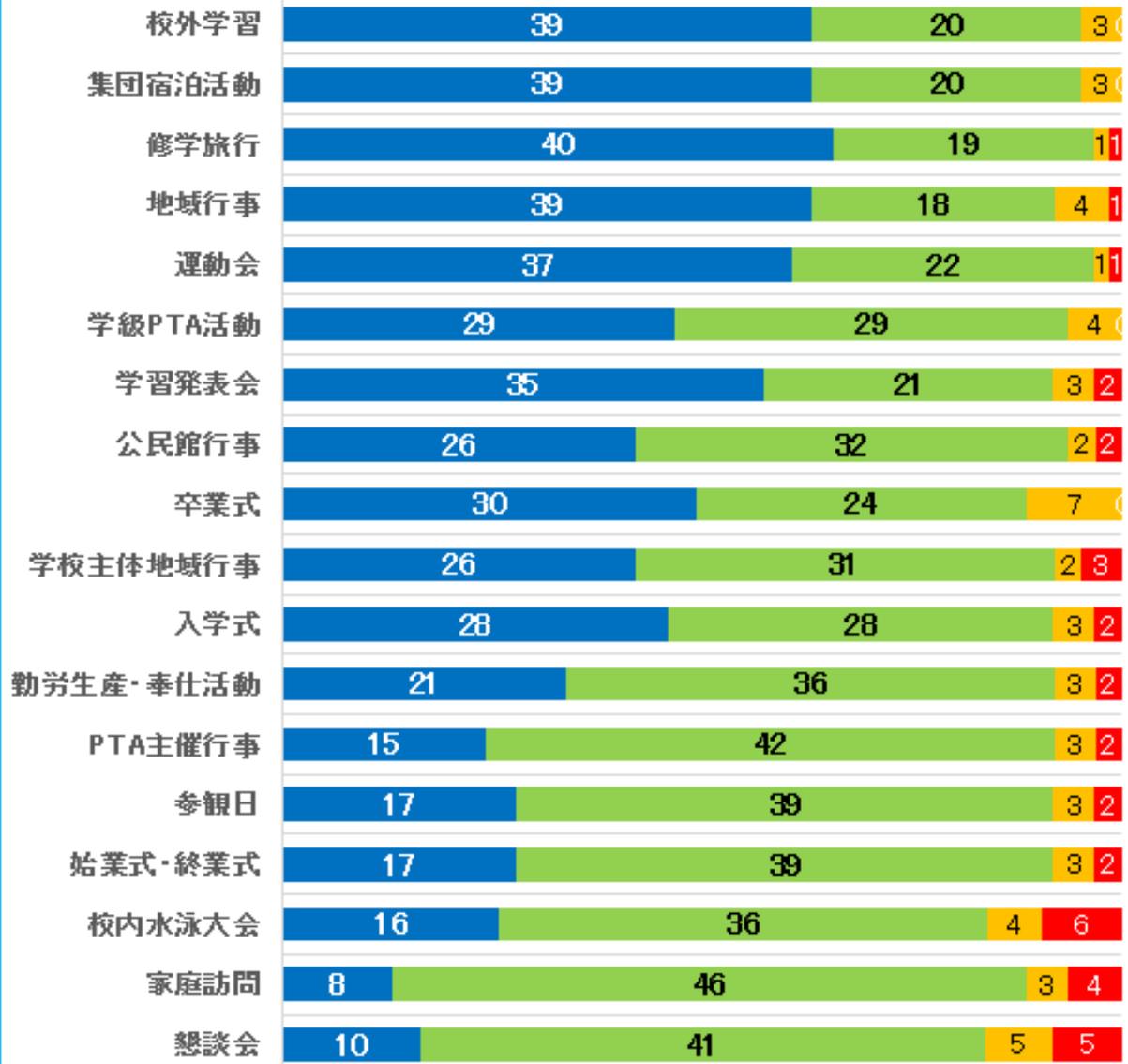
コロナ禍でのさまざまな学校の困難は、コロナ以前からあった学校や授業をめぐる問題が混在化した部分が多い。コロナ禍において、学び手目線でものを考えていかないといけない状況、何もしないことが逆にリスクである状況が生まれており、それらは委縮し硬直化した日本の学校を変えていくチャンスでもある。しかし、ここで学校が動かなければ、学校がさらに保護者や子どもたちから信頼を失い、チャンスは今まで以上のピンチとなりかねない。』

『ICT活用、修得主義、個別最適化された学び、働き方改革、これらは「学校のスリム化」を招きがち。学校の丸抱え体質は問題だが、捨てるてはいけないものを見極める必要がある。（生活の場としての学校、成長につながる学びの保障）』

ポスト・コロナによる学校教育活動

～withコロナの経験を公教育のバージョンアップにつなげるために～より 石井英真（京都大学）

# 児童アンケート



# 児童のウェルビーイングを最優先に考えてみては？



# 教育とウェルビーイング

## ～教育に関連するウェルビーイングの要素～

自己肯定感

心身の健康

幸福感

社会貢献  
意識

学校や地域で  
のつながり

自己実現

安全安心な  
環境

多様性への  
理解

利他性

サポートを  
受けられる  
環境

協働性

# PERMA理論 × 行事振り返りシート

ウェルビーイングの多面的モデル

(PERMA理論 Seligman(2011))

P(Positive emotion ポジティブ感情)

E(Engagement 物事への積極的な関わり)

R(Relationship 他者とのよい関係)

M(Meaning 人生の意味や意義の自覚)

A(Accomplishment 達成感)

学校改善の実践的研究授業資料  
(露口2022)

行事（活動、取組）は楽しかったですか  
【ポジティブ感情】

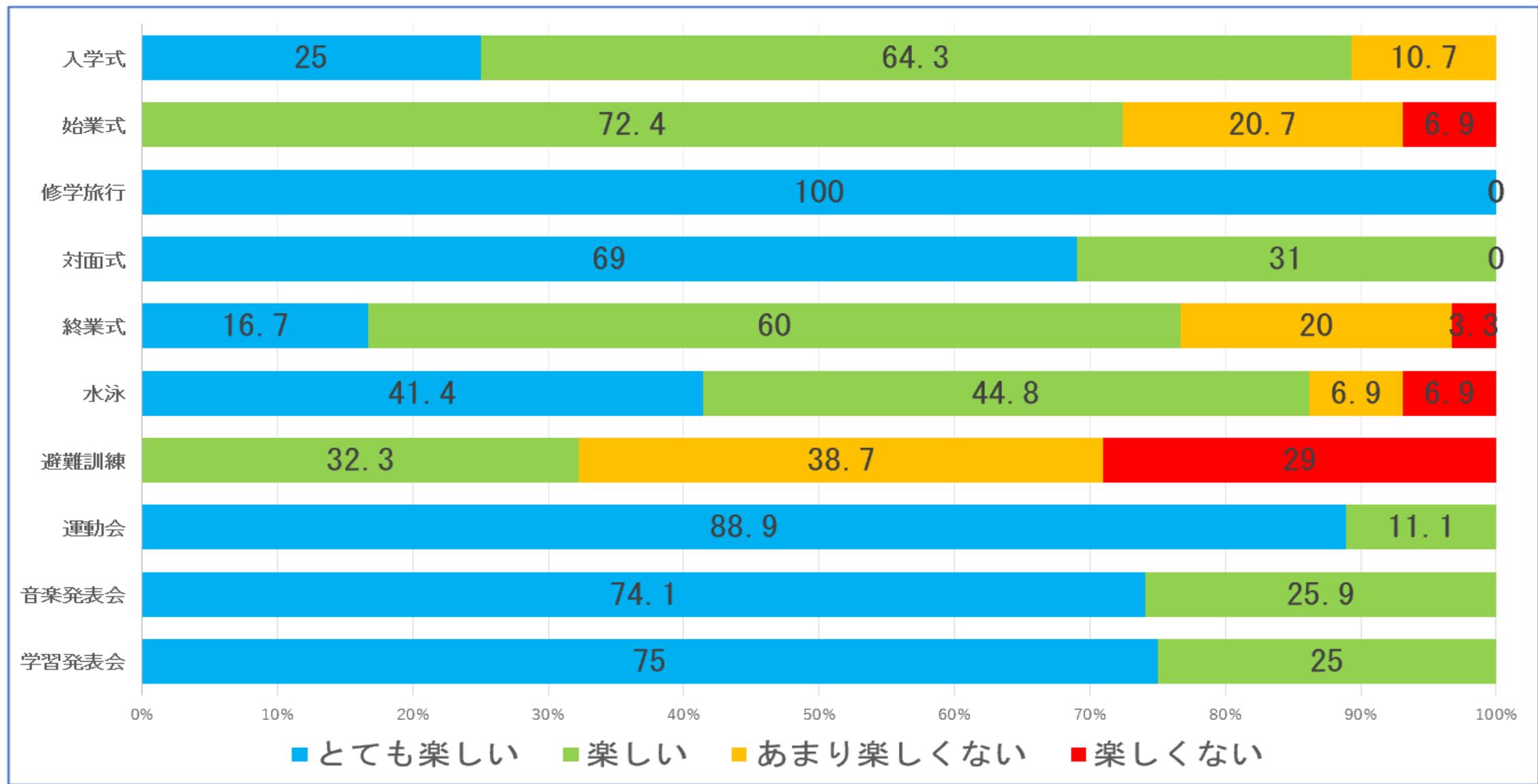
行事の準備から当日まで積極的に参加することができましたか  
【物事への積極的な関わり】

行事を通して、友達のいいところを見つけられましたか  
【他者とのよい関係】

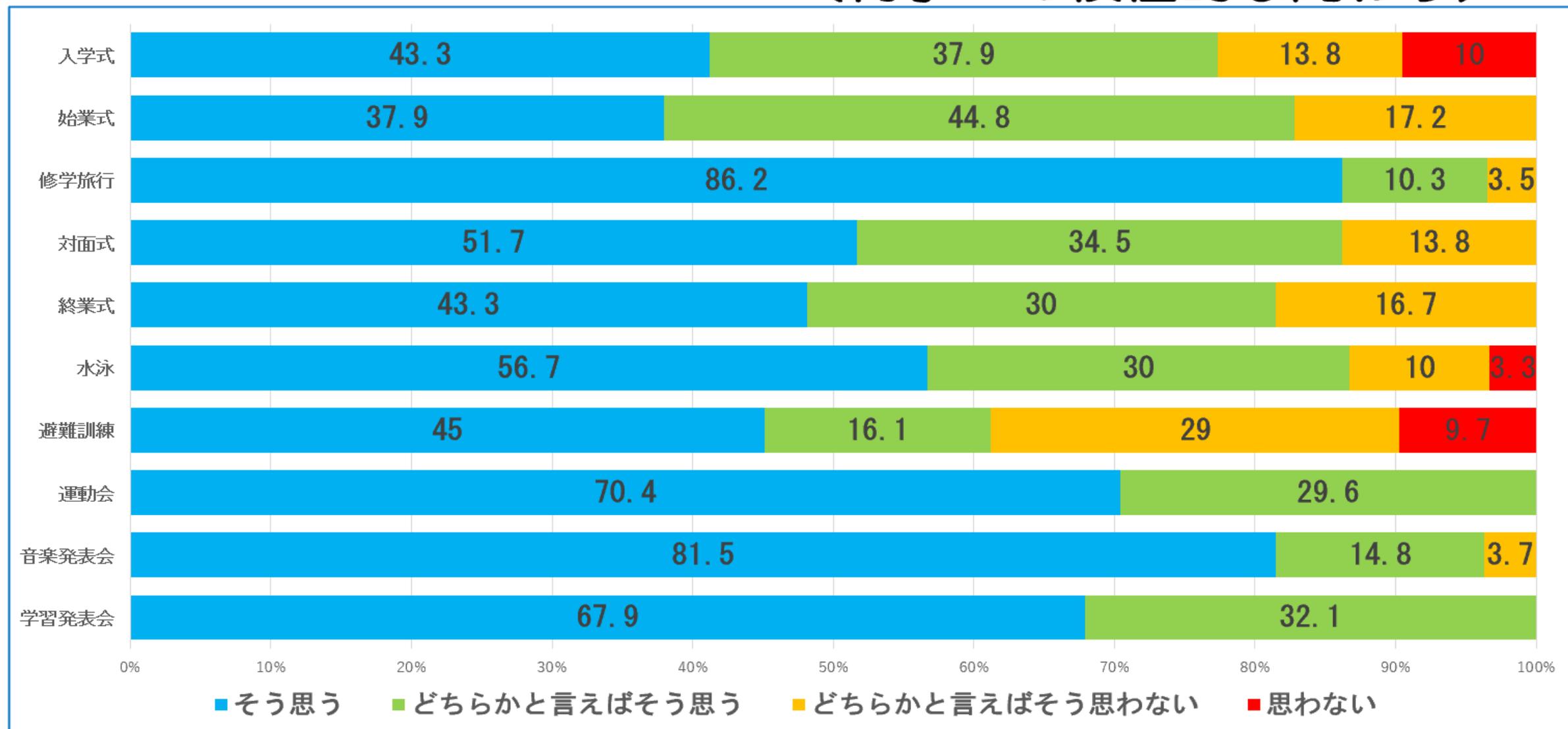
この行事は、明日からの学校生活に役立ちそうですか  
【人生の意味や意義の自覚】

行事を通して、自分の成長を感じることができましたか  
【達成感】

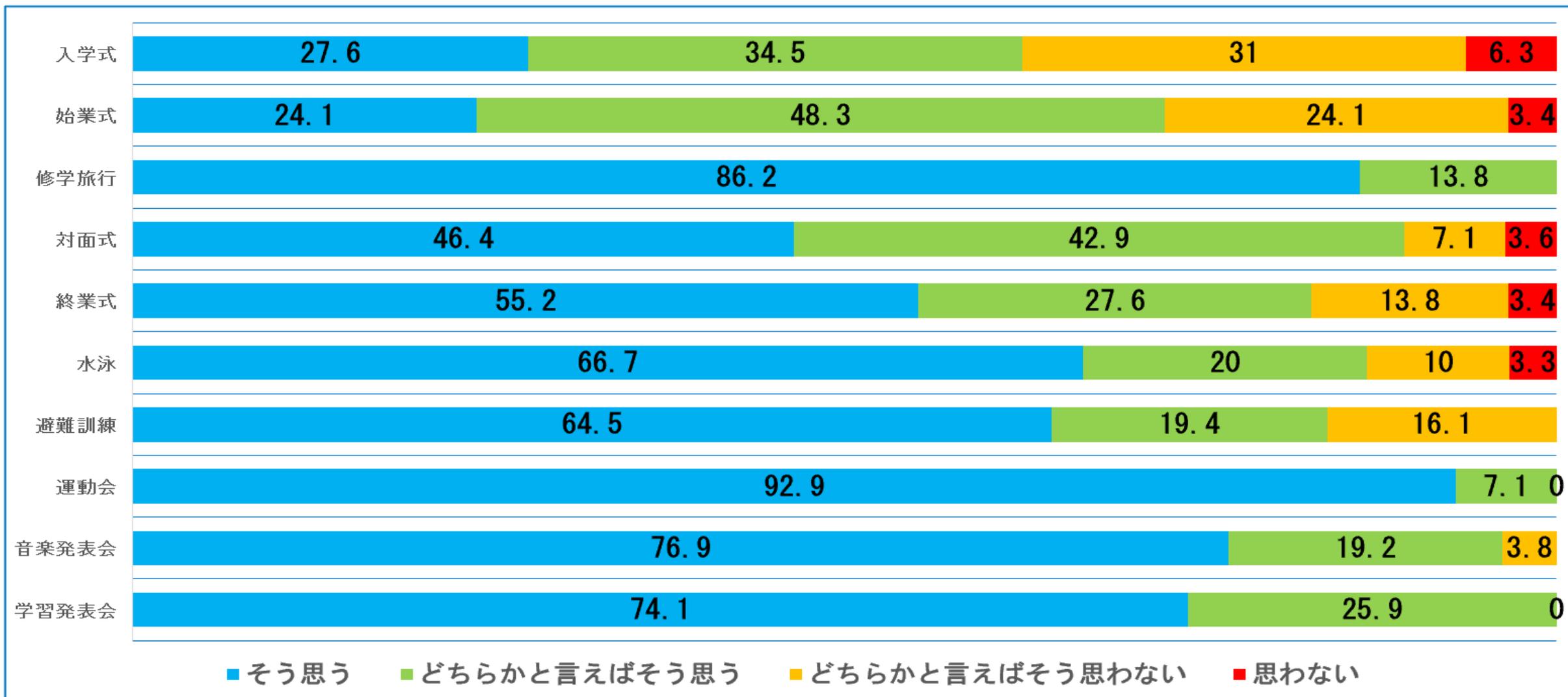
## 行事は楽しかったですか。（ポジティブ感情）



## B 行事の準備や当日まで、積極的に参加できたか。 (物事への積極的な関わり)

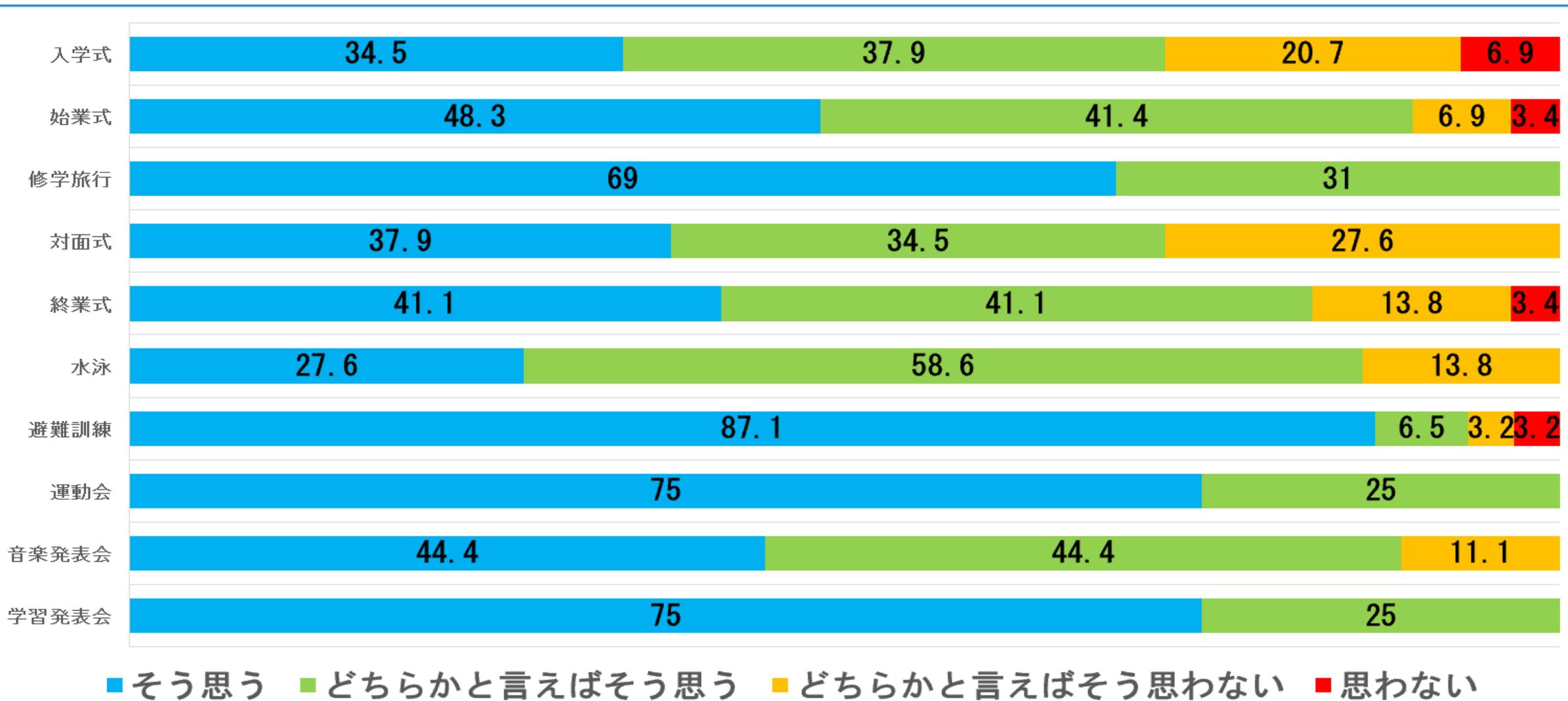


## C 行事を通して、友達のいいところを見付けられましたか。 (他者とのよい関係)

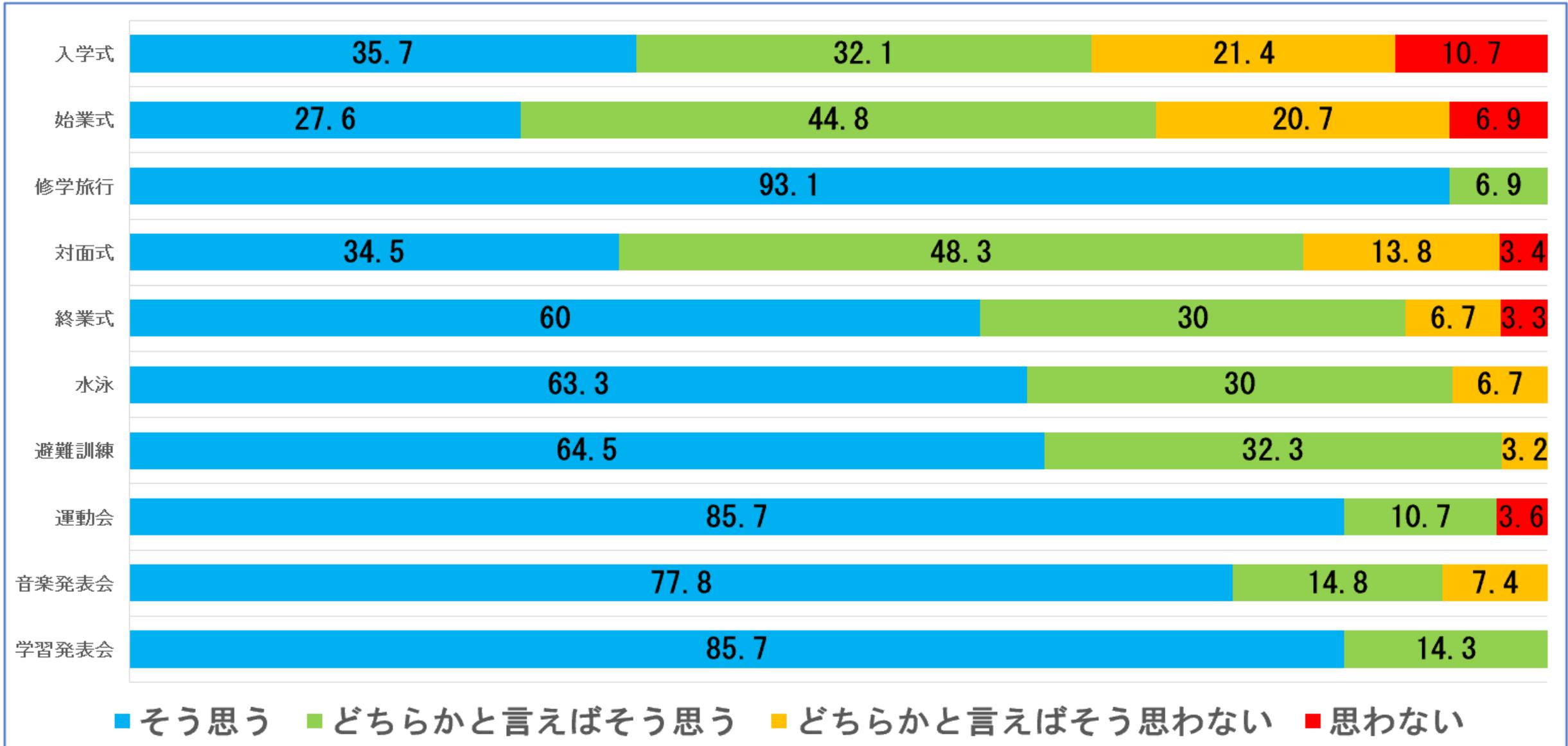


# 分析と考察

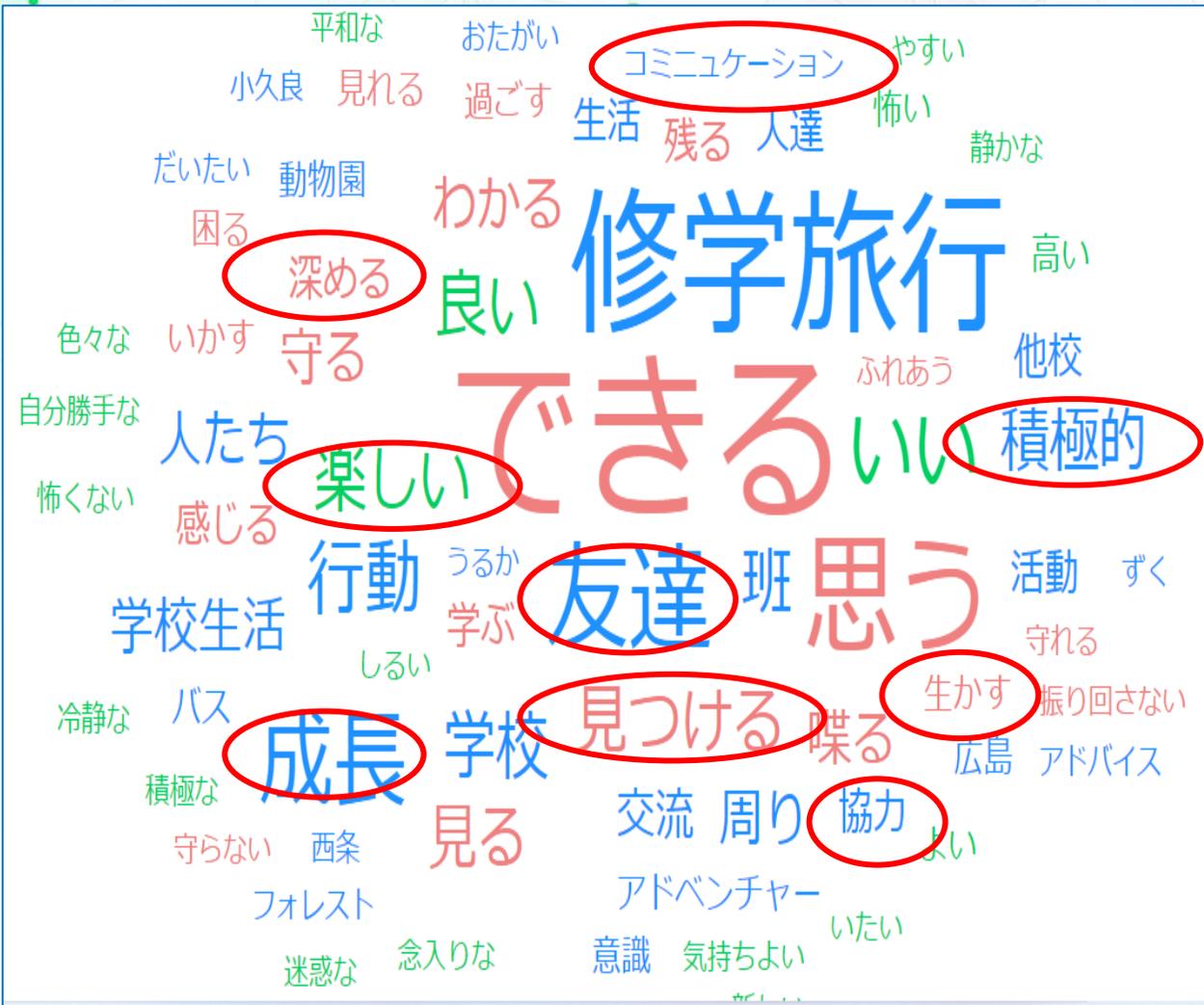
## D 行事は、明日からの学校生活に役立ちそうですか。（人生の意味や意義の自覚）



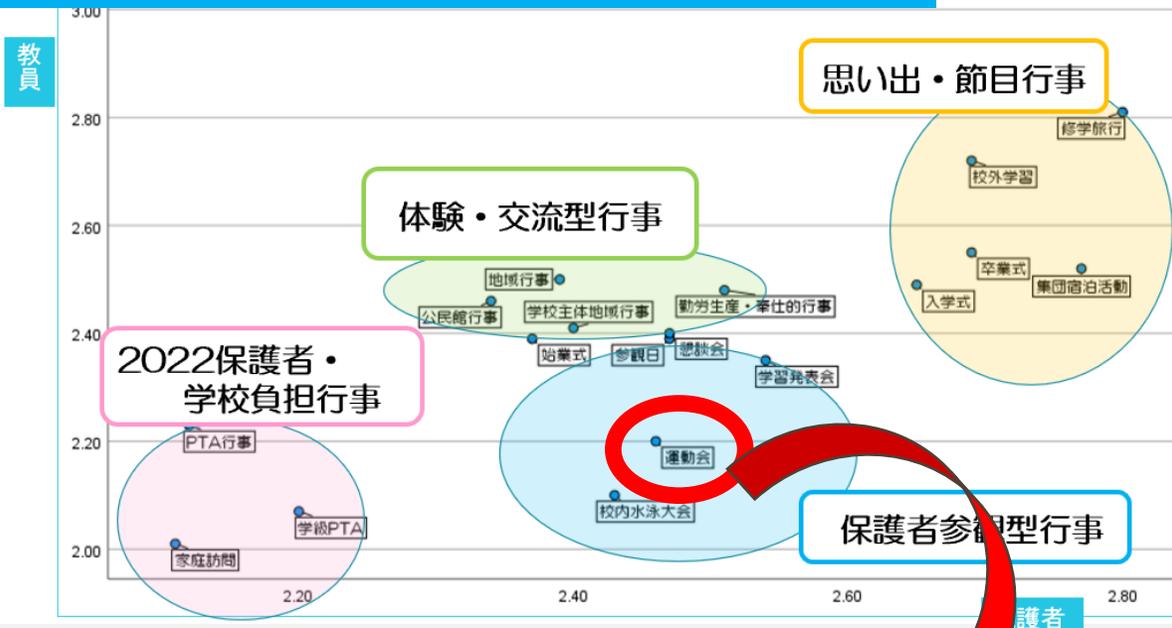
## E 行事を通して、自分の成長を感じられましたか。(達成感)



# 特にウェルビーイングの向上が見られた2大行事の考察 ～テキストマイニングより～



# 実践的示唆 ～運動会～



運動会は、子どものウェルビーイングを最も高める行事と考えられる。

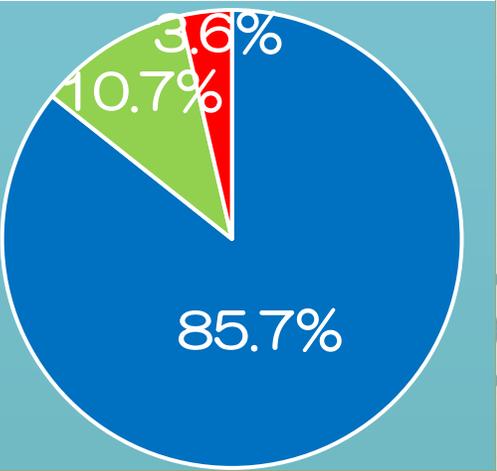
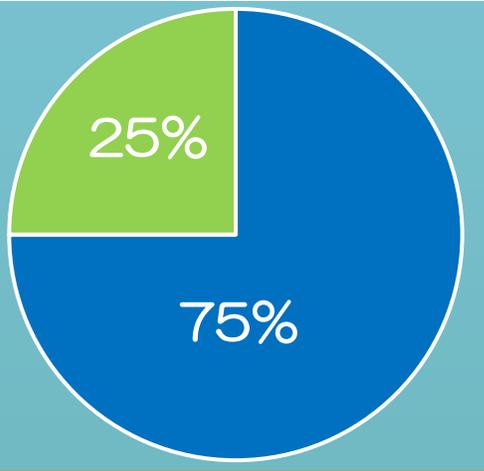
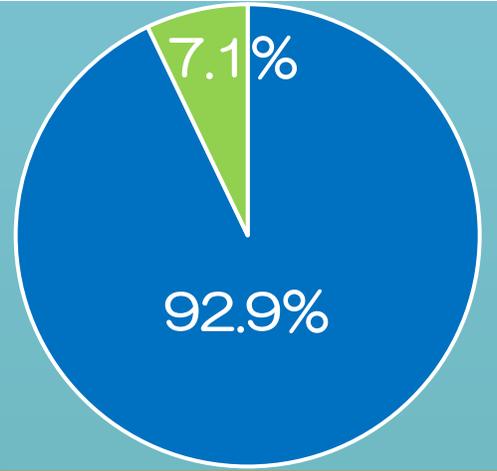
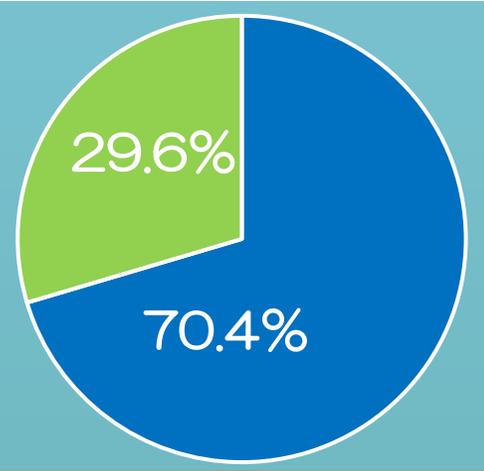
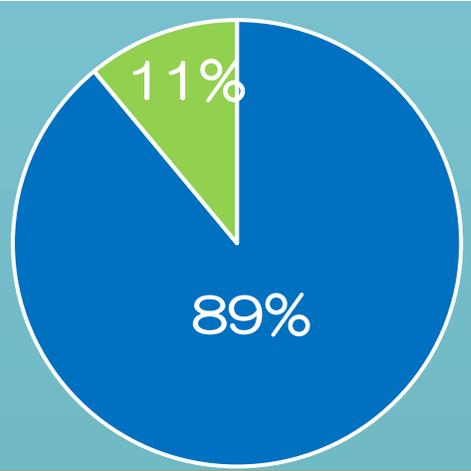
ポジティブ感情

積極的な関わり

他者とのよい関係

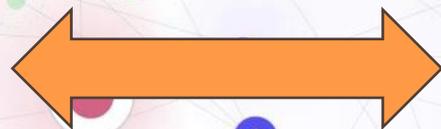
人生の意味や意義の自覚

達成感



# 日本発・日本社会に根差したウェルビーイングの向上

獲得的ウェル  
ビーイング



バランス

協調的ウェル  
ビーイング

- ポジティブ感情
- 物事への積極的な関わり
- 達成感 など

- 他者とのよい関係
- 人生の意味や意義  
の自覚 など

ウェルビーイングの向上を意識した行事を

## 限界と今後の展望

- ① 他の方事のウェルビーイング調査  
→ (未実施 児童…学級PTA活動など  
保護者…現アンケートでは難しい)
- ② 具体的実践 (アンケート結果をどう実践にしていくか)  
例) 本校では、コロナ禍以降、運動会は午前中  
↓  
令和6年度、1日開催の運動会へ復活予定  
(午前中は小学校運動会、午後は地域運動会に参加する形)

③ アンケート対象人数の少なさ。

(令和5年度は6年生のみ →

他学年の負担にならない形式を模索中)

例) キャリアパスポート(↓現状)に組み込んではいかがでしょうか?

○『今』の自分を見つめよう! ← ... 姓... 番 氏名 .....

☆1 今の自分を見つめて書きましょう。←

自分のよいところ・得意なこと←

好きなこと・今、夢中になっていること←

☆2 しょうぶの夢や目標を書きましょう。←  
(『なりたい自分』、やってみたいこと、生き方など) ←

(学校行事) がんばりカード (高学年) ←

の目標(学年(学校)全体の目標) ←

で大切なことは? ←

自分のめあて(被写小学校の5年生として) ←

を振り返ろう

① 目標に対して、達成できたことやがんばったことは何ですか。←

② どんなことが心に残りましたが。←

③ これからの学校生活にどう生かして行こうと思えますか。←

## ④ ウェルビーイングに特化した授業

ウェルビーイングって!?

『元気で、周りの人とも、  
うまく関わり、満足して生  
きている状態』

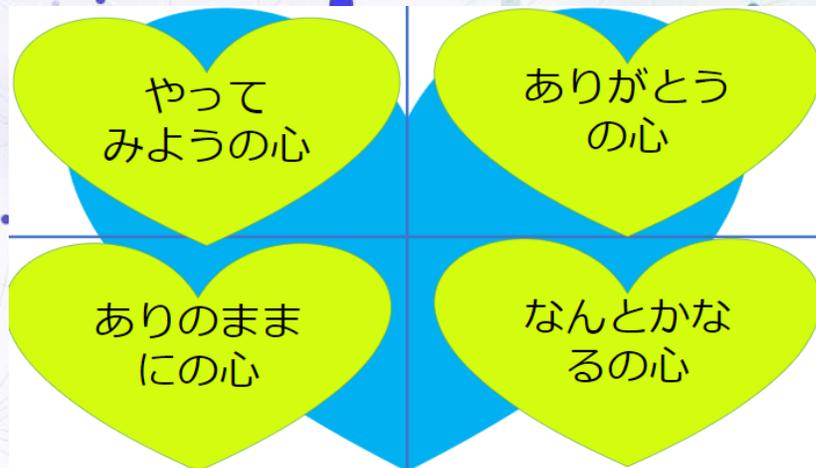
↓  
幸せに生きている状態

やってみようの心

迷ったときはどうやって決める?	自分を もっと好きになるコツは?
-----------------	------------------

ありのままの心

人は人、自分は自分と心から思えるコツは?	枠にはまらず自由でいるポイントとは?
----------------------	--------------------



ありがとうの心

大切にされていると感じるときはどんなとき?	ありがとうの気持ちをいっぱいにするコツは?
-----------------------	-----------------------

なんとかなるの心

未来にわくわくするのはどんなとき?	なんでも「なんとかなる」と思うコツは?
-------------------	---------------------

# 参考文献

- 石井英真(2020). 未来の学校 ポスト・コロナの公教育のリデザイン 日本標準  
教職研修 編集部(2020). ポスト・コロナの学校を描く 教育開発研究所
- 相良誠司(2022). コロナ禍での授業及び行事等の改善ー公立中学校におけるICTを活用した取組  
例ー 学校改善研究紀要2020 P112~121
- 露口健司(2016). ソーシャル・キャピタルと教育 ミネルヴァ書房
- 露口健司(2016). 「つながり」を深め子どもの成長を促す教育学 ミネルヴァ書房
- 露口健司(2017). 学校におけるソーシャル・キャピタルと主観的幸福感：「つながり」は子どもと  
保護者を幸せにできるのか？ 愛媛大学教育学部紀要P.171~198
- 露口健司(2019). ソーシャル・キャピタルで解く教育問題 シダイ社
- 中島晴美(2023). ウェルビーイングな学校をつくる 中央精版印刷株式会社
- 前野隆司監修、中島晴美・山田将由・岸名祐(2023). ウェルビーイングの魔法(2023). Z会